

令和7年4月4日

福岡市政記者 各位
(福岡経済記者クラブへ同時提供)

**市内企業の環境関連技術を JICA が評価！
株式会社ネオス & 日本乾溜工業株式会社
が、市と連携して海外展開に取り組みます！**

この度、独立行政法人国際協力機構（JICA）の「2024 年度中小企業・SDGs ビジネス支援事業」に採択が決まった**株式会社ネオス**および**日本乾溜工業株式会社**の各社代表が、4月3日（水）に高島市長に報告するため市役所にお越しになりました。

両社は福岡市が設立した「福岡市国際ビジネス展開プラットフォーム」の会員企業で、福岡市の支援を受けて JICA 事業に応募、採択が決定したもので、表敬時には両社代表より高島市長に対し、今年度から福岡市と連携して取り組む JICA 事業および海外展開にける両社の意気込みを発表されました。



来訪者：日本乾溜工業株式会社 代表取締役社長 兼田 智仁 氏（左）
株式会社ネオス 代表取締役 稲田 哲将 氏（右）

【2024 年度中小企業・SDGs ビジネス支援事業 採択事業】

株式会社ネオス ～昨年度に引き続き採択。製品導入に向け大きく前進～

- 案 件 名：だれもが安全な水を安定利用できるよう無収水を削減する**水道メーター検針スマホアプリ**のビジネス化実証事業
- 対 象 国：フィジー共和国
- 稲田社長のコメント「高島市長のお話しの中で、福岡市の“官民連携による国際展開推進”への強い想いと当社の取り組みへの高い関心を感じ、心強く思っております。」

日本乾溜工業株式会社 ～同社として海外へ初チャレンジ～

- 案 件 名：東南アジア地域における**竹短繊維入り土系舗装材**のニーズ確認調査
- 対象地域：東南アジア
- 兼田社長のコメント「福岡市様のご協力の元、今回の SDGs ビジネス支援事業に取り組み、「かぐやロード」の海外展開の足掛かりとしたいと考えています。」

【本件に関するお問い合わせ先】

福岡市 経済観光文化局 海外ビジネス支援課	担当：榊原	電話番号：711-4051（内線 2208）
株式会社ネオス	担当：河野（かわの）	電話番号：724-7910
日本乾溜工業株式会社	担当：中原	電話番号：632-1007

【参考資料】

● 「株式会社ネオス」について [会社 HP](#) ⇒



会社名 株式会社ネオス
代表者 代表取締役 稲田 哲将
事業内容 住宅不動産向けのシステム開発、パッケージ販売、Web コンテンツ制作、Web サイト（ホームページ）の企画制作と運営管理
資本金 1,000 万円（2025 年 1 月現在）
設立 1999 年 1 月 13 日
所在地 （本社）〒810-0041 福岡市中央区大名 1 丁目 4 番 1 号 NDビル 3F
電話番号 092 (724) 7910

【JICA 事業の概要】

自社開発の水道メーター検針アプリ（製品名 SNAPPY：簡単・正確・手軽な水道検針業務を可能とするスマホアプリ）の現地の水道公社への導入に向けた大規模実証試験、および、離島リゾートにおける小規模実証テストなどを行うもの。

※水道メーター検針アプリ「SNAPPY」の詳細は [添付資料①](#) をご確認ください。

● 「日本乾溜工業株式会社」について [会社 HP](#) ⇒



会社名 日本乾溜工業株式会社
代表者 代表取締役社長 兼田 智仁
事業内容 交通安全施設工事、法面工事、景観工事等の各種建設工事、各種建設工事に関連する資材の販売、環境型自然土防草材の製造・販売および防災用品の販売、産業安全衛生用品等の販売
資本金 4 億 1,367 万円（2025 年 1 月現在）
設立 1939 年 7 月 1 日
所在地 （本社）〒812-0054 福岡市東区馬出 1 丁目 11 番 11 号
電話番号 092 (632) 1050

【JICA 事業の概要】

自社開発の竹短繊維入り土系舗装材（製品名 かぐやロード：景観性に優れ CO2 吸収機能も有する自然素材 100%の舗装）の海外現地導入可能性を検討するため、現地市場やパートナー候補企業の調査、現地生産に向けたサプライチェーンを確認するもの。

※竹短繊維入り土系舗装材「かぐやロード」の詳細は [添付資料②](#) をご確認ください。

● 「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」について

国際協力機構（JICA）が、開発途上国の課題解決に貢献する日本の民間企業等の現地ビジネスづくりを支援しているもの。下記の 2 つのメニューがある。

- ① 顧客ニーズと製品/サービスとの適合性に関する初期の調査を行う『ニーズ確認調査』（上限 1,500 万円）
- ② 実証等を通じて事業計画を策定する『ビジネス化実証事業』（上限 4,000 万円）

2024 年度は、全国でニーズ確認調査 36 件、ビジネス化実証事業 21 件を採択。

※「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」の詳細はこちらをご確認ください。⇒



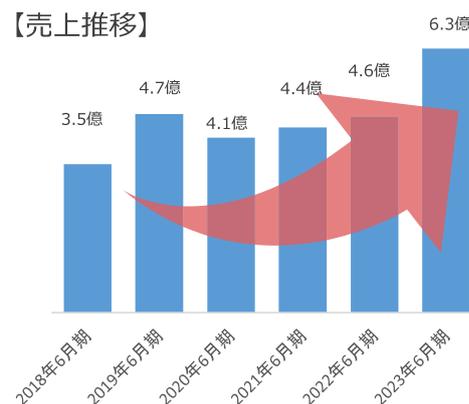
- 「福岡市国際ビジネス展開プラットフォーム」について

福岡市が設立した「福岡市国際ビジネス展開プラットフォーム」は、官民連携による ODA 案件の受注や地場企業等のビジネス機会の創出をもって、海外の都市問題解決と地域経済の活性化に繋げることを目的として、2014 年 10 月に設置した官民連携のプラットフォームです。2025 年 3 月末時点で 116 社・団体が加盟しており、成長著しい東南アジアをはじめとした海外においてニーズが高まるグリーンテックの地場企業の海外展開を支援しています。

会社情報

会社名	株式会社ネオス
本社	福岡県福岡市中央区大名1丁目4-1
営業所	関東営業所 北海道営業所
代表者	代表取締役 稲田 哲将
設立	1999年1月13日
資本金	1,000万円
従業員	45名 (2023年7月)
グループ	株式会社明治産業 株式会社GOOD不動産
加盟団体	マンション管理業協会 不動産テック協会

【売上推移】



【導入実績】

全国のマンション管理会社
120社以上



SNAPPY機能概要 (アプリ)

事前にメーター機器にQRコードを貼り付けておき
スマートフォンをかざすと対象の場所 (部屋) を特定し、同時に検針値も取得します。
ボタン1つで検針情報とスキャン画像が専用サーバーへアップロードされます。

【事前準備】

【検針作業】

(事前)
QRコード
を貼る



(1)QRと
メーターを
読み取る



(2)確定

(3)請求明
細書を出力



導入前



SNAPPY導入でシンプルで正確に！



9

COPYRIGHT (C) NEOS ALL RIGHTS RESERVED.



フィジー共和国 フィジー国だれもが安全な水を利用できるよう無収水問題を解決するための水道検針スマホアプリニーズ確認調査
株式会社ネオス(福岡県福岡市)



フィジー水資源分野における開発ニーズ(課題)

- ・フィジーでは、人口や観光客増加に伴い、水需要が拡大しているが、大規模な水道整備の見込みが低いことから無収水対策による水の追加確保が必要。
- ・正確な検針や料金請求の実施による、無収水の削減ニーズが高い。

提案製品・技術

- ・スマホカメラで水道メーターの数値と請求先が紐づいたQRコードを読み取り、水道料請求までのデジタル上で実現するDXスマホアプリ「SNAPPY」。検針業務の効率化とコストを抑えると共に、誤検針を防ぎ、読取時の画像は料金の根拠として利用可能。

調査概要

- ・調査期間: 2024年5月～2025年1月
- ・対象国・地域: フィジー共和国
- ・調査概要: 正確に水道検針が行える水道メーター検針アプリを使用して、水道の無収水の原因のひとつである検針・料金請求能力向上を行い、無収水を削減するニーズ及びアプリ実地検証の調査。本事業を通し、一部エリアへの試験導入、事業誤に他エリアへの展開を行い、フィジー上下水道公社全体の無収水削減への貢献を目指す。



ビジネスモデル

- ・フィジー上下水道公社(WAF)を顧客として想定し、現地にカスタマイズした提案サービスを導入する
- ・サービス料の受け取り及び、問い合わせ対応は現地代理店等を経由して行う
- ・検針を行うメーター数×SNAPPY利用料で課金する

対象国に対し見込まれる成果(開発インパクト)

- ・WAFによる適切な水道検針と料金の徴収を実現することで、フィジーの無収水の削減に貢献する。
- ・無収水の削減はWAFの安定的収益の獲得につながり、水道設備の投資や安全な水の安定供給の実現に貢献する。

会社概要 (実施体制)

■事業者名	日本乾溜工業株式会社 (NIPPON KANRYU INDUSTRY CO., LTD)		
■代表者	代表取締役社長 兼田 智仁	■本社所在地	〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出1丁目11番11号 TEL : 092-632-1050
■資本金	413 (百万円)	■設立年月日	1939年 (昭和14年) 7月1日
■従業員	(全社) 220人 (福岡市内) 80人 (開発担当部門) 3人		
■連絡担当者	(所属) かぐやロード推進室 (役職) 室長 (氏名) 中原 悠貴 (連絡先) TEL : 092-632-1007 E-mail : nakahara34@kanryu.co.jp		
■事業内容	【業種】 建設事業・防災安全事業 【主な株主と比率】 株式会社FCP18 28.75% 【主な取引先】 官公庁 (公共工事関連)		
■組織	公共工事を主体とする土木・道路資材、防災安全用品の販売以外にも「環境にやさしく安全な社会の創造に向けてあくなき挑戦を続ける」という経営理念のもと、拡販営業部にて自然素材を主原料とした環境製品の企画開発を実施		
■開発実績	竹短繊維入り土系舗装材「かぐやロード」 特許番号：7513856号		
■沿革	1939年 (昭和14年) 7月1日設立。 1996年4月 福岡証券取引所に株式上場 2008年10月 黒崎工場 (福岡県北九州市) で「雑草アタック」の製造・販売開始。 2010年10月 「建設」「防災安全」「化学品」の3事業部制を導入。 2022年11月 「雑草アタックS」をOEM化し、陽光物産株式会社 (広島県福山市) での製造・販売開始。 ※黒崎工場を事業譲渡。 2023年5月 「雑草アタックS」をリニューアルし「かぐやロード」の製造・販売開始。 ※販売カラー増加 (イエローオーカー・サンドベージュ・バンブーチャコール)		
■受賞歴	2013年 第10回エコプロダクツ大賞「農林水産大臣賞」受賞 (雑草アタックS) 2016年 NETIS登録QS-150035-A 国土交通省による新技術活用システム登録 (雑草アタックS) 2023年 令和5年度福岡グリーンイノベーションチャレンジ 採択 2024年 令和6年度福岡グリーンイノベーションチャレンジ 採択 (2年連続) 環境省第12回グッドライフアワード 実行委員会特別賞「SDGsビジネス賞」受賞 中小企業・SDGsビジネス支援事業 (JICA Biz) ニーズ確認調査採択		
■関係機関	学校法人 福岡大学 独立行政法人国立高等専門学校機構 徳山工業高等専門学校		



かぐやロード (製品内容)

かぐやロード 竹短繊維入り土系舗装材 (※水で固まる土系舗装材)

「環境にやさしく安全な社会の創造に向けてあくなき挑戦を続ける」という経営理念のもと、環境製品の開発に取り組んでいる中で、地域社会の課題である雑草対策問題や放置竹林問題の解決に繋がるものが出来ないかと思い、日本の原風景でもある土塚や三和土をモチーフに最新環境技術を取り入れたセメントを全く使用しない自然素材100%「現代版たたき土」を再現いたしました。「かぐやロード」は景観性に優れた雑草防止や土系舗装として活用できるほか、地域資源の活用、ヒートアイランド現象緩和、施工後のCO2吸収固定等の環境性を活かした「循環型社会」形成による「0次予防」構築に期待ができます。



■ 施工例

雑草防止工

施工後は草むしりが不要となり、面倒な手間から解放されます。

Before

After

歩行者・自転車用
施工方法: 材料敷き均し・不陸調整・散水・ハンドローラ転圧方式
使用量: 1㎡当り2.5袋 (50.0kg/㎡) まき出し厚さ: 33mm 仕上り厚さ: 30mm

土系舗装工

人と環境にやさしく自然土色のまま固化するため、周囲の景観と調和した歩道整備ができます。

Before

After

管理車両入れ用
施工方法: 材料敷き均し・不陸調整・散水・振動ローラ転圧方式
使用量: 1㎡当り2.7袋 (54.0kg/㎡) まき出し厚さ: 35mm 仕上り厚さ: 30mm

雑草問題

様々な緑地に蔓延する雑草問題は日本全国で悩まされて、近年のヒートアイランド化及び高温多湿な気象もあり世界に比べて日本は極めて雑草の蔓延しやすい環境にあります。日常的に伸びきった草を刈り、ゴミとして焼却した場合**二酸化炭素を排出**が懸念されます。また放置した場合も**病虫害や獣害**、除草する際の気温の上昇による**作業環境悪化や人手不足**など安全かつ環境に良い雑草対策が求められています。

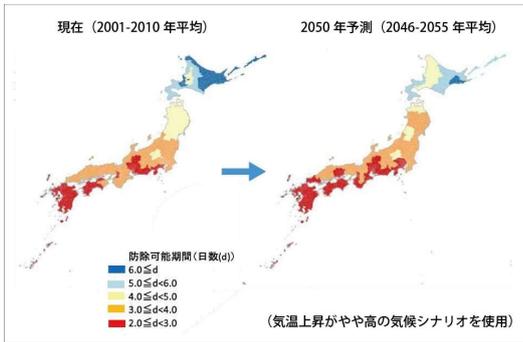
悪循環

草刈りによる雑草対策
(草刈りの手間、人手不足)



ヒートアイランド化
(雑草が育ちやすい環境)

ゴミとして焼却
(二酸化炭素排出)



温暖化による防除可能日数からみたマルバルコウ*の難防除性増大リスク推定

放置竹林問題



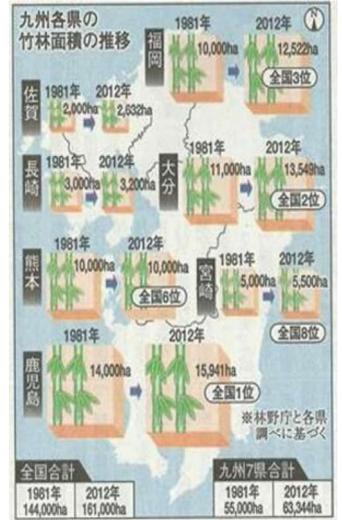
里山に広がる放置竹林

近年は里山と人との係わりが無くなってきたため、その荒廃が進んでいる

全国の竹林面積が、ここ30年で**10%以上拡大**しているなかで九州エリアに関しては、15%増となっている。

鹿児島県 15,941ha (全国1位)
大分県 13,549ha (全国2位)
福岡県 12,522ha (全国3位)
など10位以内に九州の5県が入っていて、全国的に見ても九州エリアは**放置竹林問題が深刻化**している。

また、近年の豪雨災害で竹林の**地滑り現象が各地で散見**されることから対策を求めている自治体が多くみられる。



かぐやロードの特徴 (環境性能)

特徴

01 自然素材100%の環境配慮型製品

セメント、化学品を一切使用せずに、自然素材100%で作っているため、盛土材や加工して路盤材等の再生資源として利用可能で、処分の際も建築発生土として受け入れていただいた実績もございます。

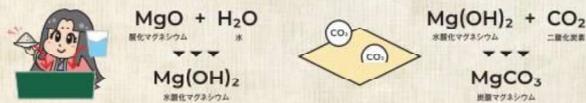
試験の対象	単位	試験の方法 環境省告示第46号 (平成3年)	試験結果		環境基準値
			かぐやロード	セメント系土系舗装	
カドミウム	mg/L	JIS K 0102 55.4	定値下検出未満	0.001	0.003以下
鉛	mg/L	JIS K 0102 55.4	定値下検出未満	0.01	0.01以下
六価クロム	mg/L	JIS K 0102 65.2.1	定値下検出未満	0.02	0.02以下
砒素	mg/L	JIS K 0102 61.4	定値下検出未満	0.005	0.01以下
銅	mg/L	JIS K 0102 34.4	定値下検出未満	0.24	0.6以下
ほう素	mg/L	JIS K 0102 47.3	0.1	0.73	1以下

※環境省告示第46号「土壌の汚染に係る環境基準」かぐやロード・セメント系土系舗装 比較資料から一部抜粋

特徴

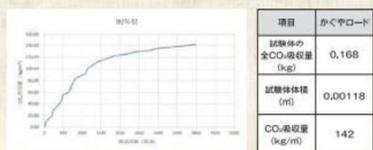
02 水和反応によるCO₂吸収性能

かぐやロードに使用している酸化マグネシウム (MgO) は、水 (H₂O) と反応して水酸化マグネシウムとなり、初期硬化を開始します。この水酸化マグネシウムが空気中のCO₂と反応して炭酸マグネシウムとなり、強度の高い耐久性固化物となります。

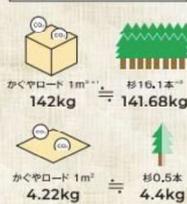


かぐやロード1㎡のCO₂吸収性能は杉0.5本と同等

かぐやロード施工当初のCO₂吸収は発売後1ヶ月(時間720h)のCO₂吸収量7.4kg/㎡(杉約3本分)であったが、1000~1500時間程度経過すると徐々に吸収活性は低下し、4000時間程度を経過した時点で大気中のCO₂濃度条件ではこれ以上の反応は見込めないと判断して試験を終了。



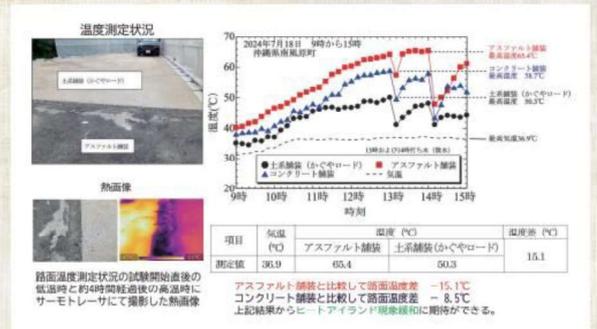
1年間のCO₂吸収固定量



特徴

03 ヒートアイランド現象緩和

かぐやロードはアスファルトとは違い、熱をため込む素材を使用していないので、舗装した地面の温度が上がりにくく、ヒートアイランド現象の緩和に貢献できます。



特徴

04 地域資源による循環型社会の形成

廃棄されることの多い竹を竹短繊維として商品に使用することで、放棄竹林の解決、地域資源の活用ができる。同時に、雑草対策や景観整備などにも貢献できます。さらに、施工したかぐやロードは不要になれば土に戻すことができるので、循環型社会の実現に貢献できます。

